

日本スケート連盟 2018-2019 ノービス課題

ISUでは、ISU Communication No.2172にて、Advanced Novices、Intermediate Novice、Basic Noviceの課題を定めているが、日本では、この年代の選手の育成を考え、以下のような独自の課題とする。

1、ノービスA

	男 子	女 子
滑走時間	3分 ±10秒	
ジャンプ	最大 6	
	第一ジャンプとして、ループ・ジャンプ、 ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの3種類を含む	
	1つはアクセル・タイプのジャンプを含む	
	アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シーケンスの一部としても) 2回まで	
	トリプルの2種類のみ、コンボ/シーケンスで繰り返し可能 単独として繰り返された場合には+REPが付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスは2つまで可能	
スピン(*1)	最大 3	
	フライング・スピン	
	足換え無し、姿勢変更無し、最少6回転	
	キャメルまたはシット・スピン	レイバックまたは サイドウエイズ・リーニング あるいは 足換え無しのシット/キャメル
	足換えの回数は任意	足換え無し
	フライングからの入りは不可、 最少6回転(足換えの場合には最少10回転以上)、 フライング・スピンと異なるベーシック・ポジションで行なうこと	
ステップ	スピン・コンビネーション	
	フライングからの入りは不可、足換えの回数は任意、最少10回転	
ステップ	氷面を十分に利用したステップ・シーケンス	

(*1)ポジションとして認められるには2回転必要

2、ノービスB

	男 子	女 子
滑走時間	2分30秒 ±10秒	
ジャンプ	最大 5	
	第一ジャンプとして、 ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの2種類を含む	
	1つはアクセル・タイプのジャンプを含む アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シーケンスの一部としても) 2回まで	
	<u>トリプルの2種類のみ</u> 、コンボ/シーケンスで繰り返し可能 単独として繰り返された場合には+REPが付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスは2つまで可能	
	ジャンプ・コンボのうち1つだけ3個のジャンプ可能	
スピン(*1)	最大 3	
	フライング・スピン 足換え無し、姿勢変更無し、最少6回転	
	キャメルまたはシット・スピン フライング・スピンと異なるベーシック・ ポジションで行なうこと	レイバックまたは サイドウエイズ・リーニング あるいは 足換え無しのシット/キャメル
	足換えの回数は任意	足換え無し
	フライングからの入りは不可、 最少6回転(足換えの場合には最少10回転以上)、 フライング・スピンと異なるベーシック・ポジションで行なうこと	
	スピン・コンビネーション フライングからの入りは不可、足換えの回数は任意、最少10回転	
ステップ	コレオグラフィック・シーケンス	
	形状には制約が無いが、明らかにそれと分かるもの レベルはフィックス、GOEのみで評価される	
	—	少なくとも1つ、3秒以上の 支持なしスパイラルが必要(*2)

(*1)ポジションとして認められるには2回転必要

(*2)スパイラルとは、一方のブレードが氷面に接し、(膝と足の両方を含む)フリー・レッグがヒップより高い姿勢のことである。
スパイラル姿勢は、アウトサイドもしくはインサイドエッジに乗っていなければならない。この定義を満たした支持無しの
スパイラルがエッジの変更無しに3秒間無かった場合、コレオグラフィック・シーケンスは無価値となる。

3、係数、転倒等について(ノービスA,B共通)

- ・転倒の減点 : 0.5/回
- ・後半のジャンプ要素の内、最後の2つの要素のBVを1.1倍とする。
- ・全プログラムコンポーネントの係数は男子2.0、女子1.6とする。
- ・必須要素は表内の国内規定に準ずるが、必須要素の不足・違反に対する判定は、昨年度までと異なり
当該年度のISU規定に準ずる。